

おばあちゃんの知恵袋



使い切れなかった花火、どうする？

楽しい夜を演出してくれる花火。でも使い切れずに残ってしまったという事はありませんか。実は花火の使用期限は10年位だそうです。しかし、火薬が湿気を含んでしまうと着火しづらくなってしまいますので、保存法が大切です。そこで新聞紙が活躍！花火を新聞紙で包み、袋に入れて湿気の少ない場所に保存するだけで良いのです。そこに乾燥剤などを入れることもおすすめ。また、破れや火薬もれがないかしっかりと確認しましょう。もし捨てる場合は、バケツに水をためて花火をひと晩からまる1日、十分にぬらしてから燃えるゴミとして出しましょう。

さつまいもの冷凍ストック術

材料

さつまいも・・・2本
水



★凍ったまま煮たり、炒めたり、いろんな料理に展開してみましょう！

切ってゆでておくだけでも料理の手間はずいぶん省けます♪
作り方

- ① さつまいもは1cmの厚さの半月切りにし、水にさらして水気を切る。
- ② 鍋にさつまいもがかぶるくらいの水を入れて火にかけ沸騰したら弱火にして10～12分間ゆでる。竹串がスツと通る堅さになったらざるにあける。
- ③ そのまま冷ましてジッパー付の保存袋に入れ、冷凍する。

シンプルインテリアで安心生活！



あえて物をたくさん持たないシンプルな暮らしが人気です。すっきりした空間は見た目に美しく居心地がよいだけでなく、地震などを踏まえた「防災対策」としても優れています。

シンプルインテリアと
防災は相性がいい

安全の視点からインテリアの見直しをするなら、特に注意したいのが頭より上の空間です。目線より高い位置をスッキリさせれば視線が通り、部屋を広々と明るく見せることができます。これはインテリアのテクニックとして王道ですが、実は安全の観点からも大正解です。

テレビなどの大型の家具・家電は裏からベルトで固定するか底面にジェルマットで固定する。



ペンダントライトは低くしすぎない。

腰より上に棚などを作ったり、物を飾ったりしない。



出入口の扉の周りには物を置かず、余裕のある空間に。

ガラスの破損を想定し、人の座るソファは窓から離す。